

ビオトープだより第33号

会員・BAより ビオトープに関する情報を提供します。

特定非営利活動法人
日本ビオトープ協会
<https://www.biotope.gr.jp/>

1. 主席ビオトープアドバイザー認定研修会（新規・第11回、更新・第12回）ご報告 本部事務局

第11回主席ビオトープアドバイザー認定研修会 第12回主席ビオトープアドバイザー更新認定研修会

日時 2023年9月14日（木）11:00~13:30

場所 「連合会館」2階205会議室 東京都千代田区神田駿河台3-2-11

審査員 協会代表顧問、横浜国立大学名誉顧問・元学長 鈴木邦雄先生

主席BA研修会担当 佐竹副会長（司会進行）、日高理事、野澤相談役

他出席役員 久郷会長、鈴木副会長、直木理事

当日受講・発表者 計4名

更新1名：成瀬祐二氏（㈱鈴鍵）

新規3名：吉田馨氏（㈱エコリス）、岡知佳氏（㈱ラーゴ）、首藤竜朗氏（㈱カジオカL.A）

ビオトープ指導の得意分野や事例を発表（約15分）、その後質疑応答
各人大変内容の濃い発表で、質疑応答も活発に行われた。

鈴木先生より、それぞれ独自性やユニークな部分を強みにしていけるとよい、とのお言葉をいただき、審査終了後全員合格し主席BAに認定された。

2023年10月現在、38名の主席BA
が全国で活躍中。

来年度も開催予定、BAの皆様にはぜひ
新規受講をご検討ください。



2. 芝生管理に農薬（除草剤・殺虫剤）は必要か・・・？

相談役・主席 BA 野澤 日出夫

岩手県のラグビーの街・釜石には、被災した鶴住居小学校跡地を含めて、立派なラグビー場が完成している。その練習場と子供たちの多目的広場（芝生グラウンド）・オートキャンプ場・海水浴場を展開する「根浜シーサイド」が作られた。

この多目的広場の芝生管理で、雑草対策として除草剤を使うか否かの論議が沸き上がっていて、受託管理者は子供施設に農薬は使いたくないとの意向に対して、委託者の釜石市からは、除草剤を使って管理費を少なくさせたいとの意見とで論議となっている。

芝生管理の要点は「週1回の刈取り」{裸地を無くす目土と追播} につきますが、芝生管理について最近の動向について、ご参考までに下記の事例を紹介します。



1) ワールドラグビーでは、下記の方針が出されて各国は対応を迫られています。

環境サステナビリティ計画 2030 - World Rugby

この計画は大きく3本の柱で構成されています。

①気候変動アクション

- ・ラグビーのフットプリント
- ・パリ協定に沿った適応策
- ・気候変動対策への意識と提唱

②経済の循環

- ・スポーツ大会は、物資や資源を大量に浪費する可能性があります。
- ・廃棄物管理、調達方針、使い捨てや短命な物品、プラスチック汚染をテーマとする。

③自然環境保護

- ・芝生、砂、雪などさまざまな表面でプレーするアウトドアスポーツであるラグビーは自然と密接に関係しています。
- ・このテーマでは、ラグビーがどのように生態系を維持し、より健康的な環境を促進することができるかを取り上げます。

***まさにビオトープの考え方がラグビー場管理に必須となります。**

2) イングランド・ナイスワースを本拠地とする「フォレストグリーン・ローヴァーズフットボールクラブ」

オーガニックなやり方でピッチをヘルシーに保っているか
キーワードはサステナブル・環境にやさしいサッカー場
使用する電気やガスはグリーンエネルギー、
ゼロカーボン競技場・木造・太陽光発電・除草剤農薬フリー芝管理、
2018年「カーボンニュートラルなスポーツクラブ」として国連が認証



FIFA（国際サッカー連盟）より「世界で最もグリーンなサッカーチーム」として高い評価を受ける。

サッカーを通じて観客に環境メッセージを届けている。

3) 農林水産省「みどりの食料システム戦略」

より持続性の高い農法への転換についての農林水産省指針

＊ 耕地面積に対する有機農業取組農地面積増加させる

現行 0.5% (2万3千㊦) から、2040年までに主要品目の次世代有機農法に関する技術を確立。

2050年までにオーガニック市場を拡大しつつ、耕地の 25% 100万㊦に拡大する

＊ 今まで培われて来た技術と持続的な改良・革新的な技術、生産体系の開発と組み合わせることも強調

2040年までにネオニコチノイド系農薬を含む、従来の殺虫剤を使用しない新規農薬等を開発

2050年までに化学農薬使用量(リスク換算) 50%に削減

4) 教育施設の園庭・校庭を緑に・・・

・東京都の教育施設(園庭・校庭)における芝生管理マニュアル(東京都教育委員会)

①芝刈り(週1回以上・草丈3分の1)

②散水(4～9月 2日に1回・10月～週1回)

③肥料

④冬芝の種子散布(暑熱に弱いため秋に種まき)

⑤更新作業(エアレーション・パーチカルカット)・目砂散布

⑥雑草対策

- ・基本的に除草剤不使用
- ・芝刈りで種子を結実させない
- ・雑草も刈り揃えれば良い
- ・棘のある地下茎雑草は掘り取り

・浜松市の園庭芝生化計画マニュアル・・・保育園・幼稚園の先生に・・・

維持管理の基本的な内容

園児が素足で駆け回ったり転がったり

≪雑草を抑える方法≫

①頻りに刈り込む、雑草は回復できず枯死(6～8月1回/週)

②頻りに刈り込むことで、横に広がり密度を増して強くなる

③強く健康な芝生⇒雑草が発芽しても大きくなれない

④密度の高い芝生⇒雑草の種子が侵入出来ない

⑤芝の禿げた裸地⇒目砂で埋める

＊除草の時期⇒抜根除草及び草刈を行う時期は、雑草の出穂時、遅くとも結実期前に行うことが重要です。

＊外来種 メリケントキンソウ侵入 広域に広がりつつあり

棘の固い種子が危険 掘り取り・刈取り

大量に繁茂した場合 除草剤を適切に使用し駆除



メリケントキンソウ



靴底にも刺さる種子

5) 除草剤は国の基準をクリアーして安全・・・と言うが・・・

除草剤使用の注意事項には以下の様に書かれています。

農薬（除草剤）は国等の安全基準をクリアーしている

・・・では、全く安全なのか芝生 除草剤の注意事項

除草剤は容量、用法を守らなければとても危険な薬剤になります。

少なくとも以下のことに留意して使用しましょう。

①肌や皮膚につかないようにする

使用の際はマスク（吸引による障害）、園芸用ゴーグル、ゴム手袋（直接触れて皮膚の炎症）、帽子、長靴、

皮膚の露出部をできるだけ少なくしましょう。

②体調の悪いときは避ける

体調がすぐれない時は、散布を行うことはやめましょう。

③強風、気温が高い日は避ける

風の強いとき、日中の気温が高いときの散布はやめましょう。

④風向き注意

風向きを考え、散布した薬剤が家屋、洗濯物、車、周辺の畑、樹木、池などにかからないように気をつけましょう。

⑤幼児やペット・基本的に除草剤不使用

散布中は幼児やペットが近づかないようにしましょう。

⑥散布後はよく洗うこと

散布後は手足などの露出部分を石鹸でよく洗い、使用した器具、衣服を洗いましょう。

⑦希釈濃度を守る・・・原液 6ml 摂取で大人に障害（血便など）

*特に感受性の強い子供は要注意（化学物質過敏症・アレルギー体質）

*北米穀倉地帯での事例⇒遺伝子組み換え穀物＋非選択性除草剤

遺伝子組み換えの輸入穀類約 90%から除草剤成分検出される

周辺環境への影響・・・生態系（植物・水棲生物・土壌バクテリア）

除草剤使用は、管理作業を安易に出来ることにはならない。

適材適所の使用に止めて、正しい管理に徹する努力を続けましょう。